

(別紙2-3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかえで荘

作成日 平成 26年 3月 20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束をしないケアに取り組んでいたが危険のリスクが高い本人の状況からやむを得ず同意を得て行う事となった。	現在職員が手薄な時のみ拘束ベルトを使用している為、業務内容の見直しや介助内容等を見直して行く事で、拘束ベルトの使用時間の短縮を図っていく事を目標に取り組んでいます。	日常生活での本人の動作等を観察し、離床介助の時間や近接での見守り・声かけによる職員間の連携を図っていく。わずかな時間でも拘束をしないで済む時間を確保する。	3ヶ月で見直し6ヶ月まで
2	5	新人スタッフによっては身体拘束をしないと勉強してきたのに施設では現実身体拘束がされていたとの矛盾の声に対応する事となった。	新人職員には入居者様一人ひとりの状態や状況の把握がまだ十分に出来ない為本人様に起こりうる危険を伴う場面のあらゆる予測を説明しどうしたら拘束をしないでケアが出来るか検討していく。	身体拘束に関する勉強会や研修への参加をして頂く。他施設の取り組みの事例など把握を行いプリントに起こして個人的な勉強の為の資料として取り組んでいただく。	3ヶ月で見直し6ヶ月まで
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。